

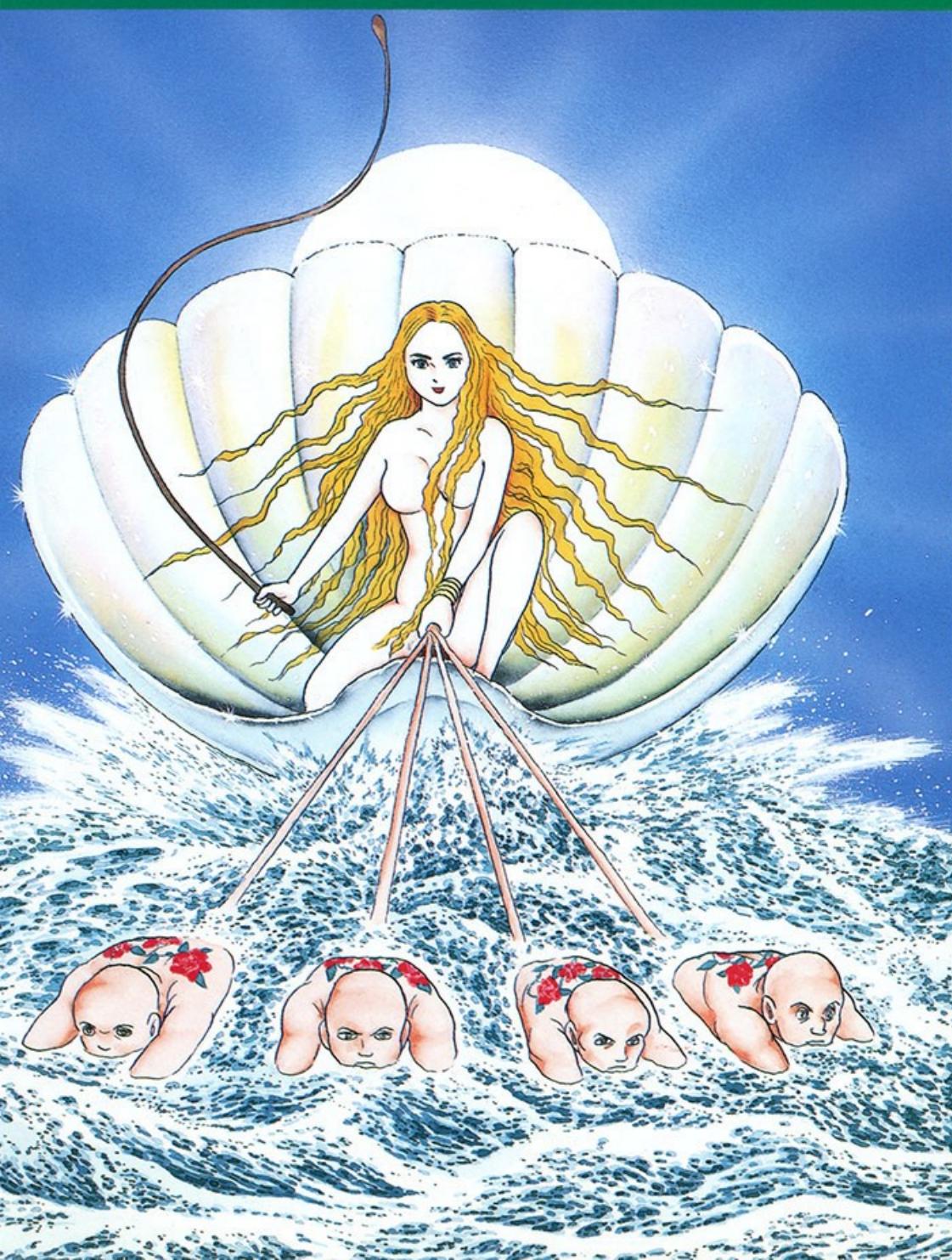
TATSUMI COMICS

劇画

家畜人ヤプー

【快樂の超SM文明】編

監修/石ノ森章太郎 作画/シュガー佐藤 原作/沼 正三



【快楽の超SM文明】編のあらすじ THE DOMESTIC YAPOO

飛行絨毯で空を飛ぶクララとイース人たち。下に広がっているのは、西暦3970年の地球。フジヤマ飼育所で子宮畜を購入したボーリーンと、同行したアンナ・テラス、ウィリアム、クララは、飛行島高天原に帰ってきたのだ。飛行絨毯で、西王母としてのアンナ・テラスの王母宮・瑠台に向かう。このシナ風の宮殿で、クララは麟と再開。麟は犬吠えと舌舐めで自己卑下の姿勢を見せ、もはや恋人同士であったという感情はどこにも残されてはいなかった。

また、クララと麟はイース帝国の偉業についてボーリーンやアンナ・テラスからさまざまなお話を聞くことになる。アンナ自身、古代日本史に深く関与したばかりでなく、西アジアや古代ローマ帝国、シナでも歴史に干渉していたことを知る。イースは宇宙という空間のみならず、人類の歴史までも征服したのだ。

クララは、アンナ・テラスから中国の偉大な歴史家・司馬遷の男根をプレゼントされる。女性がそれを装着し、男性的快楽を覚えるためし使用するものだ。これもイースの科学と女権制が可能にしたものひとつである。

一方、黒奴酒酒場では黒奴G 8号とN 5号がデートのひとときを楽しんでいた。ここでは、白人に似せて作ったバッコちゃんというアンドロイドが、黒奴たちをもてなす。彼らは、白人の尿を酒として飲み、嘔吐物をごちそうとして食べる。こういう酒場でしか口にできない高級品なのである。また、オナンコでは、ダイシータイプのアンドロイド、ヒップ・キャノンが、黒奴たちの妄想を夢見治療で治し、〈救済〉するのだった。

ジャンセン家の別荘に来た一行のうちウィリアムとセイル、クララは麟を連れ、中の島を訪れる。蛙畜の巣では、ヤブーのひとりが、肉便器がわりにウィリアムに使われたのを目撃。麟は、クララのトイレにも付き合わされ、そこで見た肉便器の姿……日本人の成れの果てに対して強い衝撃を受け、自分たちへの同情を抱く。クララは、このヤブーを昨日まで恋人にしていた自分を恥じ、麟を肉便器にする決心をかためる。麟もそれを受け入れる。

20世紀の世界大戦においても、麟は驚くべき話を耳にする。第二次世界大戦の日本の戦争犯罪は明らかだし、その反省が現在のヤブーの心理に深くかかわっている。首長家の家紋が菊の模様になっているその理由も、ここで語られる。そして、ナチ政権誕生とユダヤ人虐殺の影には、ヤブーの存在があったことも……。

この作品は辰巳出版より刊行された「劇画家畜人ヤプー」(全4巻)を完全再現したものです



劇画家畜人ヤプー「宇宙帝国への招待」編

作/石ノ森章太郎 原作/沼正三

272頁/左綴じ/1983年1月より刊行

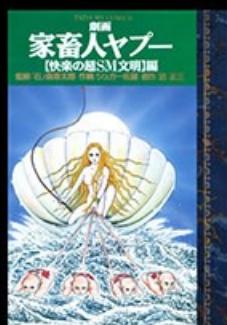
2000年後、日本人は肉体改造され白人女性の
快楽の必需品と化す！

劇画続・家畜人ヤプー「悪夢の日本史」編

監修/石ノ森章太郎 原作/沼正三 作画/シュガー佐藤

240頁/右綴じ/1984年1月より刊行

「古事記」「日本書紀」の記述を覆す、驚くべき想像力。
天照大神は…美貌の…



劇画家畜人ヤプー「快楽の超SM文明」編

監修/石ノ森章太郎 原作/沼正三 作画/シュガー佐藤

248頁/右綴じ/1993年5月より刊行

ついに人間消費時代、はじまる！？
未来世界の黙示録、いよいよ佳境へ。



劇画家畜人ヤプー「無条件降伏」編

監修/石ノ森章太郎 原作/沼正三 作画/シュガー佐藤

248頁/右綴じ/1994年3月より刊行

空想の快楽(原作)から視覚(劇画)の興奮へ。
長きに渡った物語がクライマックスを迎える。



電子書籍版

劇画家畜人ヤプー「快楽の超SM文明」編

2014年4月1日発行

発行人:廣瀬和二

発行所:辰巳出版株式会社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目15番14号 辰巳ビル





TATSUMI COMICS

劇画 THE DOMESTIC YAPOO

家畜人ヤプー

【快楽の超SM文明】編



監修/石ノ森章太郎
作画/シュガー・佐藤
原作/沼 正三

プロローグ

第十六章 瑞台

1. 飛行絨毯
2. シノワゼリー
3. 呟えと舐め
4. 人参果

14

10

第十七章 宇宙生物タオ

1. 漢武帝内伝
2. 仮男根フオニー
3. 天狗膏

36

第十八章 ふたつの小箱

1. バー・シンドバッド
2. バツコちゃん

48

第十九章 黒奴酒洒場

1. ランジエリーとヘード
2. 黒い星・黒奴居住星
3. 水晶池と中の島
4. 小便と犬の調教

90

第二〇章 権現と観音

1. オナンコ
2. メラヒツバスと夢治療

68

第二十一章 水晶池と中の島

1. 舟畜人
2. ヴィーナス・レガッタ
3. 蛙畜舎

116

第二十二章 レディーズ・トイレ

135

瀬部麟一郎（麟）

西ドイツ留学中の日本人学生。未来帝国イースに連れられ婚約者だったクララの家畜にされてしまう。イースにおける日本民族末裔の現状を知り、強い衝撃を受ける。

クララ・コトヴィツツ

ドイツ名家の出で天涯孤獨の身。リンを救うためにイースへ行くが、イース青年ウイリアムに惹かれ、人間としてのリンを捨てる。リンをセツチンにする決意を固める。



イースの大貴族で女検事長。黄色人という理由でリンを家畜に貶め、クララの心も変えさせた。アンナ・テラスの王母宮・瑞台でクララとリンにさまざまな話を聞かせる。

ウイリアム・ドレイバア

ボーリーンの義弟。イス男性としては珍しい活発な青年。イース女性に比べて控えめなクララを前史時代人と見抜くが、そんな彼女に一目惚れし騎士役を買って出る。



第二十三章 ジヤンセン家のアルバム

1. セツチンの恋
2. 菊花談義
3. ヤブー生涯学習論

1. ジヤンセン・レディーズ 2. ジヤンセン・ボーイズ

3. 意識転移体

第二十四章 股間部顔面複合文化

1. 厕畜舌作法

2. 舌分析技法

第二十五章 セツチン化への道程

1. 口唇整形と乙姫寝台

2. 口裂け畜宣告

3. 口腔陸化処置畜

4. 鼻輪付縮小畜と女主人

第二十六章 加速された時間の中で

1. 白と黒の法廷

2. トライゴン式搾乳尋問

3. 学級裁判

4. ヤブーの犯罪

アーナ・テラス
 前地球都督でイースーの美女。失踪した妹を探し、訪れた古代日本で天照大神として崇められる。日本史はもとより、シナ史、西アジア史、ローマ史などに干渉する。

セシル・ドレイバア

ボーリーンの兄。家畜文化史を専攻している学者で、古代語にも強い。イース男性らしく直操帶を付け、何時間も化粧に励む。家畜史をクララに説明する。

ヒヅ・ボ・キヤノン

三十三の変身能があると言われる、ダイシータイプのアンドロイド。白人に代わって黒奴やヤブーに接觸する。今回は黒奴ジムの強制夢見治療を行い、「救済」した。

子宮畜カヨ

フジャマ飼育所で修行に励む美貌の日本人少女。ボーリーンの子宮畜として選ばれたことに喜びを感じる反面、首輪をさせられるなどの家畜扱いに失望と恐怖を抱く。

「宇宙帝国への招待」編のあらすじ
 「悪夢の日本史」編のあらすじ
 監修者より「マンガ家畜人ヤブー」石ノ森章太郎
 寄稿「ヤブー伝説」伊達一行

244 243 8 6 4

204

181

168

137



正編《宇宙帝国への招待編》のあらすじ

二千年後の未来社会。時間と空間を征服した人類の宇宙帝国イース(EHS = The Empire of Hundred Suns)の幾百もの遊星領には、前史時代以来の英王統の女系の女子が女王として君臨していた。女性が政治・軍事・司法・経営等の社会活動の一切を掌握し、男性は学問と芸術を事とするが、家庭では妻に隸属する。この女権性は、貴族・平民の両階級に及んでいた。

政体は貴族政治で、千の大貴族とその百倍の小貴族が、その十万倍の平民を統治していた。以上の正規の国民はすべて白人で、その下に白人に数千倍する黒人・奴隸階級があり、さらにその下に黒奴数の何百万倍の黄色家畜人ヤブーが飼育されている。

黒奴は「半人間」と呼ばれ、多少の人権を認められているが、ヤブーは「知性猿猴」と見破られて以来、全くの家畜として使役・愛玩・消費されている。進歩した科学の力は、あるいは染色体手術による核酸加工により遺伝的に、あるいは直接の整形加工に

より外科的に、人権のないヤブーの肉体を自在に変形し、現代人の想像も及ばぬ無数の変種を作り出した。

犬のように四つん這いで走る畜人犬、倍数体細胞で三倍の巨体を与えた畜人馬、水中での乗物である河童、双胎仔から作る馬形双体等の新種の家畜や、栄養液循環コードにつながれ個体性、独立行動性を限定された肉便器・肉痰壺・肉反吐盆・舌人形などの生体家具、さらに、生体接着糊で複数の畜体を連結した肉寝台・肉椅子・肉浴槽等があり、また読心能を与えた読心虫が、原ヤブーのためにも生きた消化器の役を務める。肛門から首を伸ばして最下等の液状餌料(畜乳)を一週一度吸うだけで栄養分が足りるので、原ヤブーには排泄ということがなく、また口腔が摂食の用途から解放されている。

そこで、白人—黒奴—黄畜間に三色摂食連鎖が成立している。白人の便はヤブーの薬になるが、尿は黒奴酒になる。黒人のものはすべて畜乳本管に流れ込み、他の厨芥・塵屑、牛豚の糞尿等、イース世界の一切の不淨不用物と混和してヤブーの餌料となる。

家具、体長十五センチの矮人、三・五センチの極小畜も広く使用されている。

これが畜人制度を支える物質的基礎であるとしたら、その精神的基礎は白神信仰である。アンナ・テラスの新福音以後、主神崇拜が加強されたり、また局在神思想もあって、内容はまちまちだが、いずれにせよ、ヤブーの各種族は白人種を神として礼拝している。これに対し、黒奴を服従せしめているのは恐怖であり、直接的には日記報告の制度である。

生産労働を機械と黒奴に任せ、自らはギリシャ風の美的生活を楽しむ白人、ことに貴族たちの日常を快適にするため、知性ある家畜人ヤブーは、イースを織りなす細密画のような密度で、多方面に利用されていた。

シリウス圈第八遊星である本国星カルーの首都アベルデーンから地球別荘に来ていたジャンセン家の侯爵嗣女ボーリーンは、自らも検事長を務める貴婦人だが、航時艇（空飛ぶ円盤）に乗つて過去世界を遊歩中、一九六〇年の地球面に墜落した。居合わせたドイツ娘クララとその婚約者の日本人留学生麟一郎（麟）は、ボーリーンを救ける

ボーリーンの義弟にあたるウイリアム・ドレイバアラに紹介され、歓迎され、靈液ソーマを飲んで、帰化の決心を固める。

別荘の一夜が明けると、麟は家畜適性検査を受ける。ウイリアムに愛情を感じ始め、麟をヤブー視するに至ったクララは、彼を自己の所有する土着ヤブーとして畜籍登録し、尿洗礼を施す。

フジヤマ飼育所で子宮畜を購入するのにアンナ・テラスの助言を得ようとしたボーリーンは、空中列車『竜巻号』で飛行島高天原に向うが、ウイリアムとクララも同行することになった。クララの横たわるソファの中には、彼女が知らぬうちに麟が吊られていた、彼女の視聴を己が見聞とするよう馴致されていた。彼女は夢の本で、ヤブーが日本人のなれの果てであること、昔の日本列島にはいま、土着ヤブーの国「邪蛮」があることを知る。

想像を絶する日本の歴史が語られるうち、『龍巻号』は飛行島に着陸し、空一面には数知れぬ天使（畜童）が一行の到着を歓迎する音楽を奏で始めた……。



続編《悪夢の日本史編》のあらすじ

たので、放射能や熱を消すことはさして難事ではなかつたのである。

イース人は、英國人の末裔である。イギリスが開発した世界初の光速宇宙船「栄光号」が南アフリカの喜望峰から飛び立つたのは一九七七年。人馬座α星圏に比較的地球と自然環境の似た遊星を発見し、その原住民たる有翼四足人たちを撃ち破り、この星「新地球」を女王陛下に捧げた。しかし、出発以来十年を経て帰来した隊員たちが見た光景は凄惨を極めていた。世界大戦後の地球である。一九八X年、第三次世界大戦が起つたのだ。

戦争自体は一日で終結したもの、そのときに使用された超水爆α爆弾の放射能と細菌弾による熱は、世界の人口を一挙に四十分の一にさせてしまつた。α爆弾を受けなかつた唯一のアジア地域、日本列島も熱の侵入で人口は半減した。一九八八年、英國女王と選りすぐられた青年千人が光波宇宙船で、人類の墓場となりつつある地球を抜け出した。

三年後、十万人が移住のため「新地球」へ旅立ち、紀元二〇〇〇年には労働力とし

て、黒人二十万人が連れ出された。地球では熱に強いアメリカ内の黒人が白人の遺産により大きな勢力となつた。しかし、北半球は放射能による大気汚染がひどく、もはや住めなくなつてきていた。そこで、北米の黒人たちは南米大陸へ大移住を敢行。日本へも移住の勧めがあつたが、

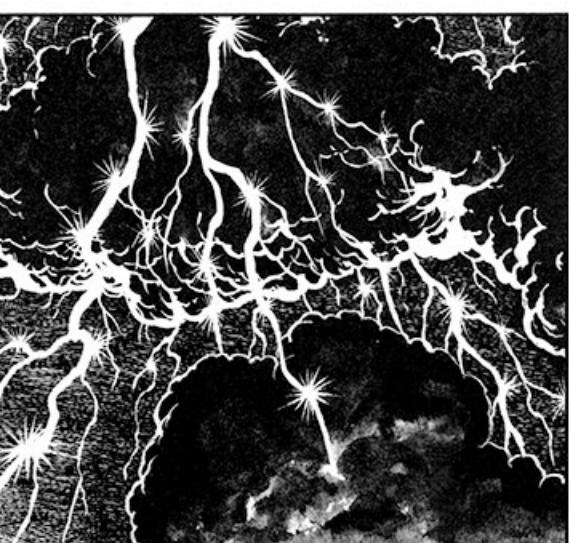
南米へ到着した日本人移住者たちを待つて、いたのは奴隸の待遇だった。

二〇六七年、「故郷の星」の回復を目的として、イースの宇宙艦隊が現れた。そのときイースはすでに高い科学力を持つてい

生物は根絶したと思われていた北半球・日本に生存者がいて、驚きを呼んだ。ゴリラか猿人と思われる容貌と姿態で野蛮な穴居生活を送つていた。動物本能ばかりの白痴、そして奇形。

これらは本国に送られることになつたが輸送にあたつた担当責任者は、人間ではなく、動物として扱うこととした。事故死したときに責任が軽くなるのだ。理論的には、彼らは元来が類人猿であり、白人文化を猿真似していたのだが、白人文化を離れてたちまち本性を暴露したのだ、と主張された。健全者についても同様の待遇が与えられた。

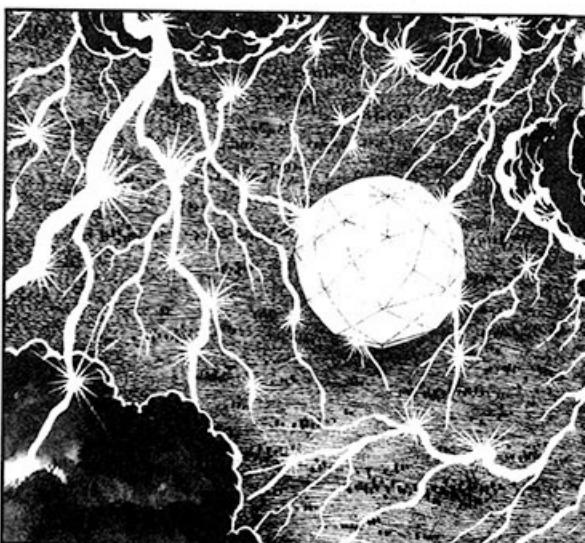
その頃、南米の黄色人代表から日本に帰



り、独立国を作りたいという申し出があつた。奴隸たる黒人の奴隸である家畜的劣等人のこの申し出に指令部は大笑いしたが、奴隸資源確保のためには繁殖率の良い住み慣れた環境が必要とも考えた。黄色人を移住先の南米から日本列島に戻し、名目は保護国としたが、実質は、奴隸資源確保のための自然動物園。ヤブーたちには気付かないよう管理している。これが新国家「邪蛮」である。

邪蛮

晴れ渡っていたシリード島の澄明な秋の空の一点に、突如、稻妻がはためき黒雲が起つて渦巻いた。空中列車『竜巻号』が飛び立つたのだ。目的地は飛行島高天原。フジヤマ飼育所で子宮畜を購入する際にアンナ・テラスの助言を得ようとするボーリーんに、ウイリアムとクララが同行している。畜籍登録し、尿洗礼された麟一郎(麟)は、馴致椅子に吊られながら、昨日までの婚約者で今日の女主人たるクララの名を一心に念じていた。以後、麟はクララの視聴を己が見聞としてされることにならう。「祈りは聽かれる」からである。



クララが「夢の本」で、ヤブーが日本人のなれの果てであり、昔の日本列島にはいま土着ヤブーの國「邪蛮」があることを学ぶうちに、空中列車はカラコルム山脈K2に停泊中の飛行島に到着。関東平野の四倍の規模を持つ飛行島の大雪山スマーラの山麓にある遊仙窟では、女主人・前地球都督アンナ・テラスが一行の到着を待ち受けていた。飛行島がフジヤマ飼育所へ到着するまでの一時間、一行は黒色獣のスリルを味わうことになる。

旅行したアンナ・テラスその人のことあり、須左之男命はアンナとの賭に敗れた妹のスザンであった。おまけに、万世一系の始祖たる神武天皇はアンナの従畜たるニニギーの別名でもあつた。『古事記』『日本書紀』の日本神話の真相が白日のもとにさらされるなか、麟は時間旅行の逆説に頭が混乱してしまつていた。

一方、飛行島の接近を知らされたフジヤマ飼育所では、所長の冷笑ヒック(猿田彦)が玉門畜コノハナと泌液雄畜サロメを従えて、子宮畜選抜の準備に余念がなかつた。滅亡前の日本と同じ文明水準を維持している錯覚のもとに巧妙に管理されている邪蛮から処女検査を経て選ばれた295匹の処女ヤブーを、ヒックは非常呼集した。

その中の一匹にカヨという半白人そらくりの美少女がいた。彼女と仲間は、これら虹の橋を伝つて降臨するボーリーン以下の白皙の女神たちの前で銀明水噴射検査など、羞恥心に満ちたコンテストに臨まなければならぬ。カヨは優勝し、女神の身代わりの子宮畜として、帝王切開の栄誉を担うべく、天国へ昇天していく。

『快楽の超SM文明』編の発刊に寄せて

マンガ家畜人ヤプー

石ノ森章太郎



「家畜人ヤプー」のような作品を読むのに、理屈は不要である。千差万別、百人十色、人それぞれの受け取り方でいいのだ。

ある人は寓話、お伽噺と見るかも知れない。ある人は、こりやファンタジイだ、S Fだと言うかも知れない。そしてまたある人は、とんでもない、これは哲学的空想小説だよ、と頑固に譲らないかも知れない。單なるSMボルノという読み方だつて当らずとも遠からずだ。

発表当初より話題（作者・沼正三正体不明も含め）となり、世代を変えて今日に読み継がれているのが、その何よりの証拠だろう。

さて、かくいう私もその当初からの読者の一人だつたのだが、後年ひよんなところから「ヤブー」世界に巻き込まれてしまつた。マンガ化の話を持ち込まれ、ついいつうつかり引き受けてしまつたからである。

で、困惑した。

何故なら、私が「家畜人ヤプー」から受けっていた印象は（つまり「読み方」）――これは文字で描かれた漫画だなあ、というのだからだ。

ところが、事はそう簡単なハナシではない。例えば、黒澤明監督のあの名作「七人の侍」を、もう一度リライトするような作業になるだろうからである。

結局、どうしたのかと言うと、原作が多様に有している一側面「SF」の部分を（作品が言わんとしているところを多少捩じ曲げても）拡大して取り上げて別の作品にしてしまう、という決断……。

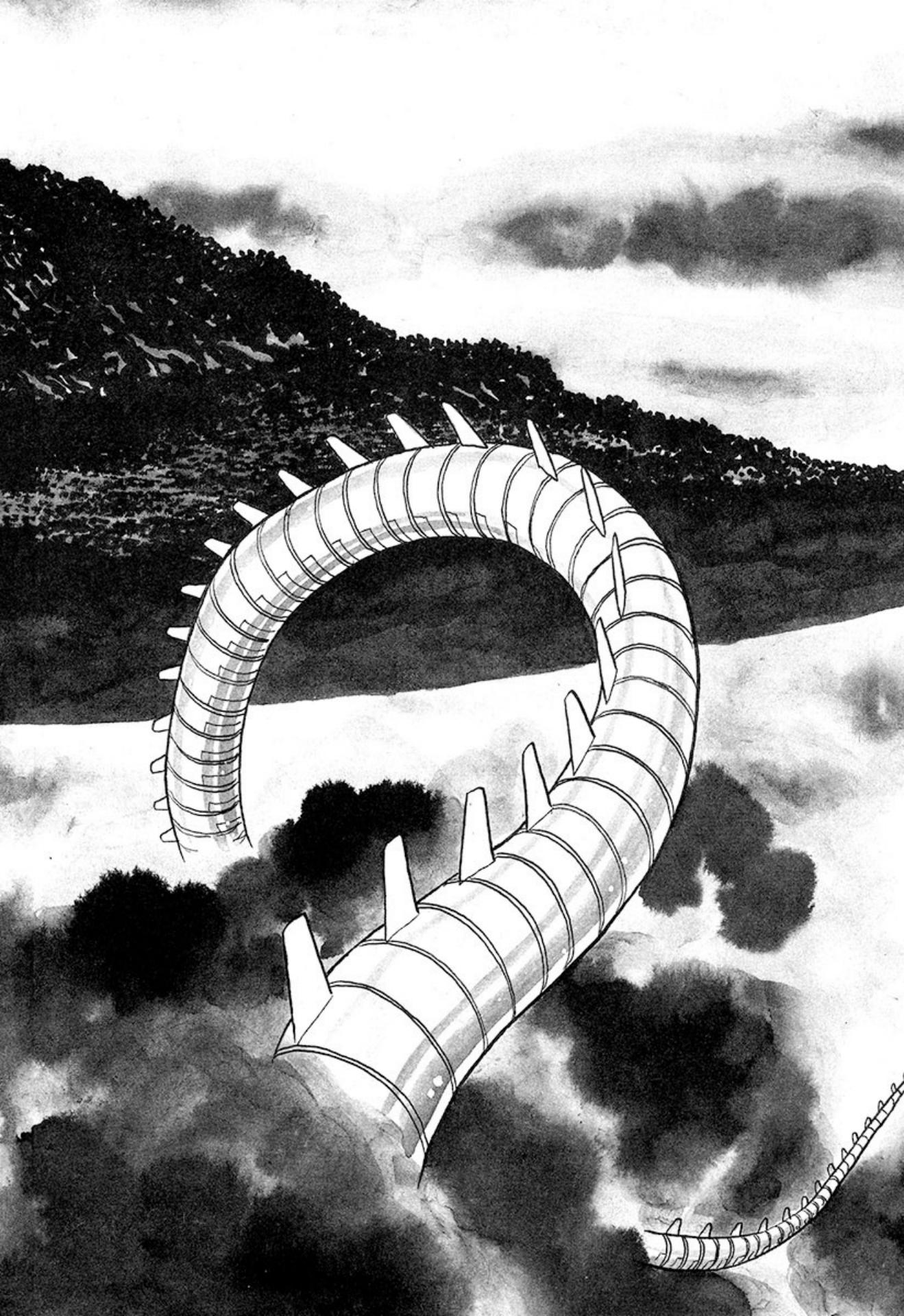
その困惑する作業は、一巻、二巻（以降は私のスタジオ出身のシュガー佐藤が担当）、そしてこの三巻に至つて頂点に達したのだ。

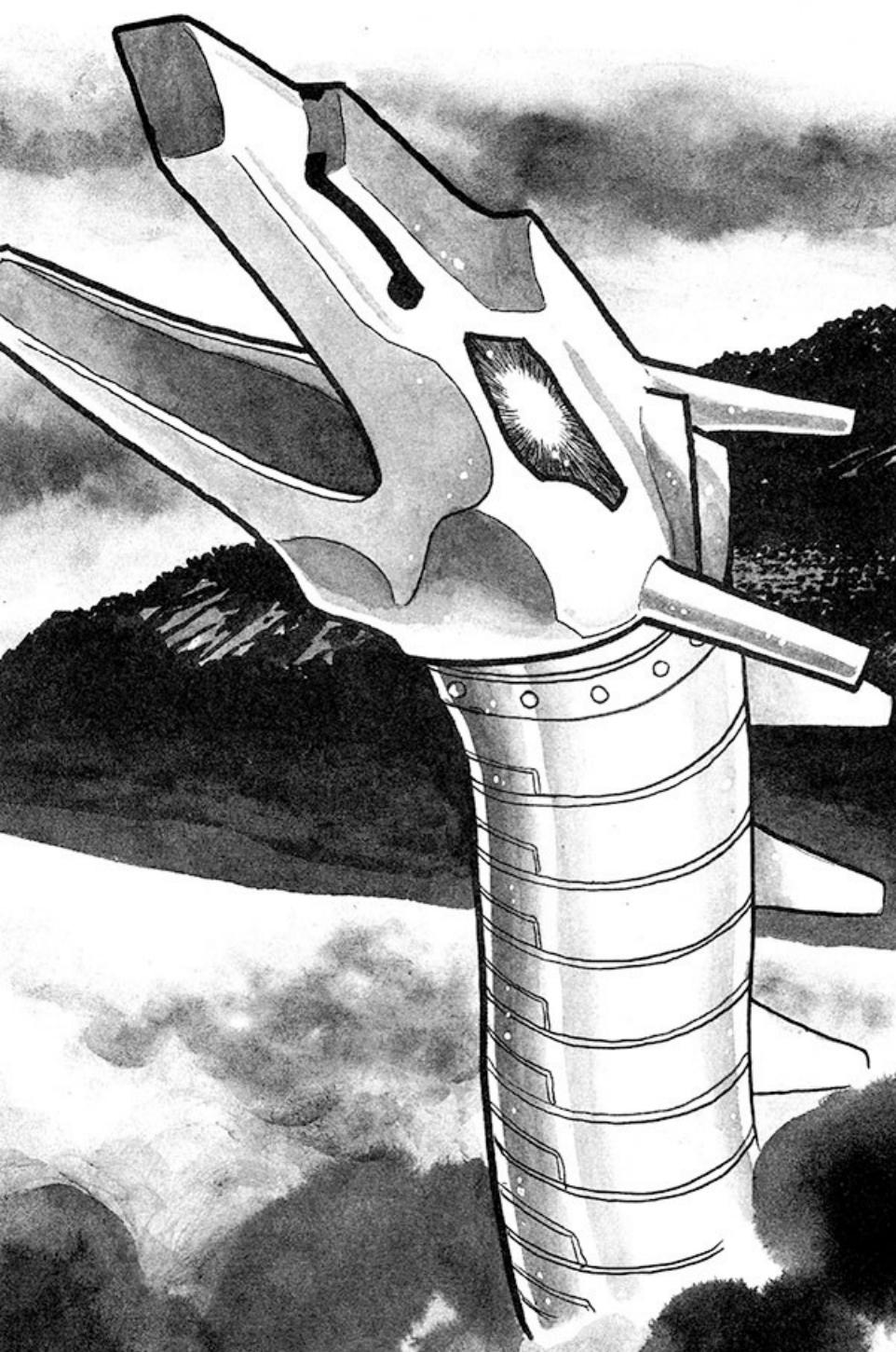
マンガとは、事象や事物をレトリックやアニメーションやブラックユーモアなど意味付けしながら、デフォルメした視点で描写（内容も絵も）するモノだが、正にこの続編は、言葉と絵の差異こそあれ、同じだけたからだ。

そんなこんなを思いながら（アナタ流に）両方を読んでみて下さい。

私わたくしこかつ
ののつい
願がん上あがてに
望ぼうな行ゆき
のくつひとの舟ふね
小ちいさ美うつくたことの舟ふね
舟ふねをい水みずのな
みち先さき案あんない樂らく
ちび案あん内うち人ひと園えん
かれ人のの小こ島じまのなかを
るのあなたによつて

P · B シエリ一 「縛つかめを解とかれたプロミーシュース」

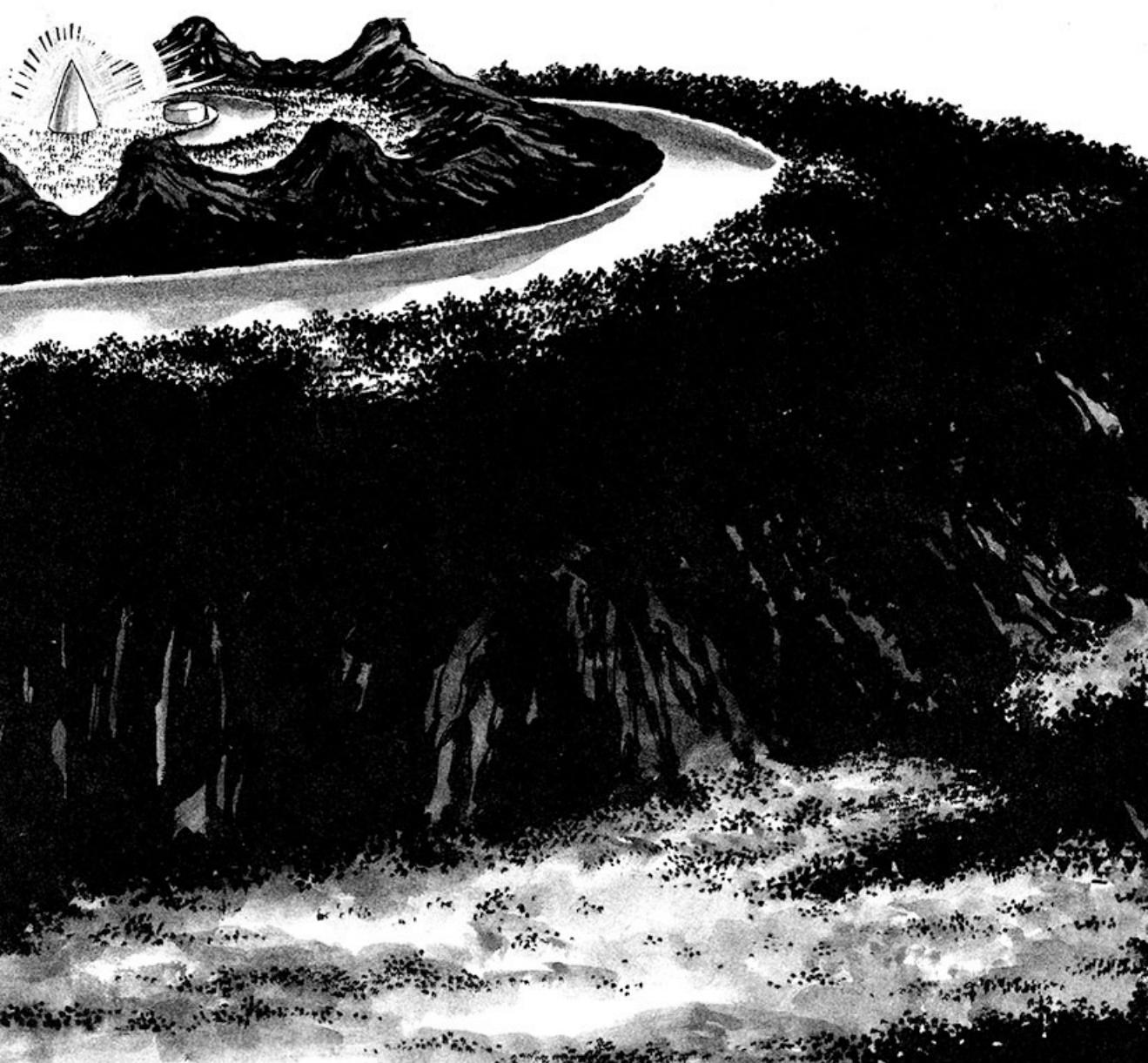




飛行島『タカラマハン』の円盤の
中央にある円錐山。円周を成す外輪山に取り囲ま
れている。

それが玉山で高さも他の六峯より
秀でているばかりでなく、全山が
翡翠か瑠璃のような硬質半透明
の青緑色の石材に富んで宝石の
ようく輝いている。

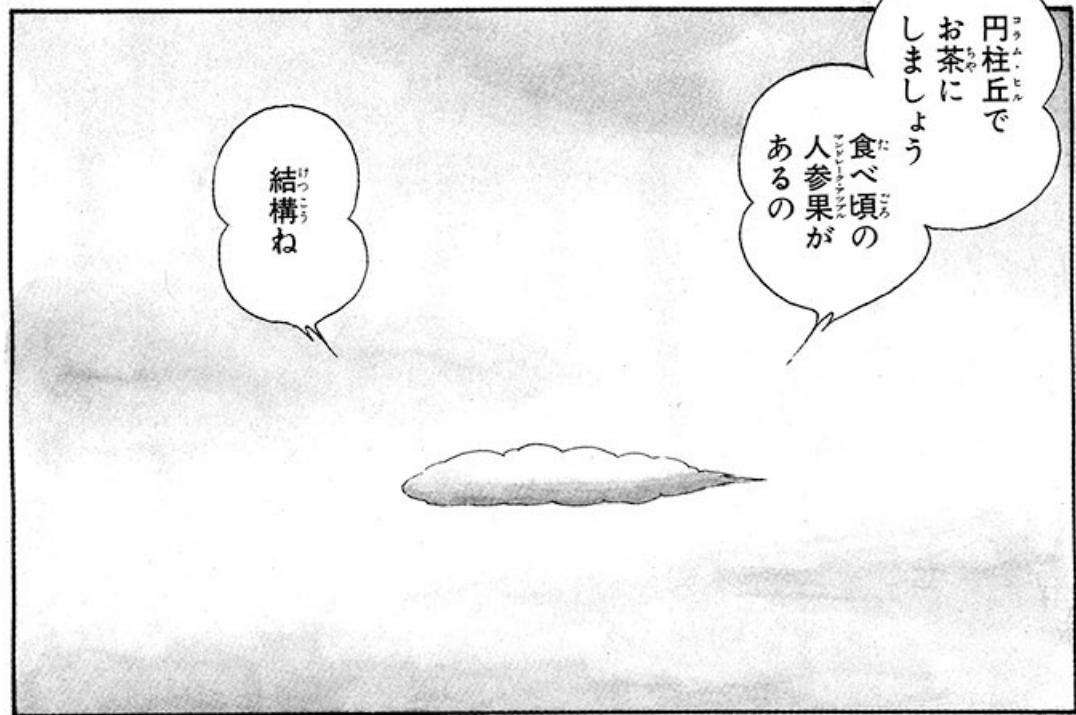
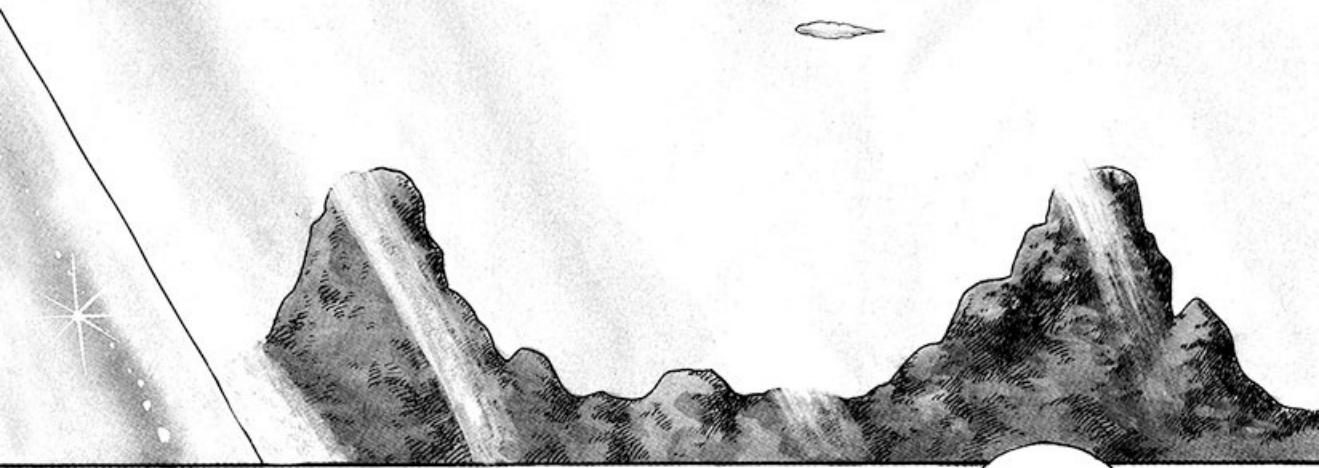




だい しよう ジエイド・マンション

第16章 瑶台

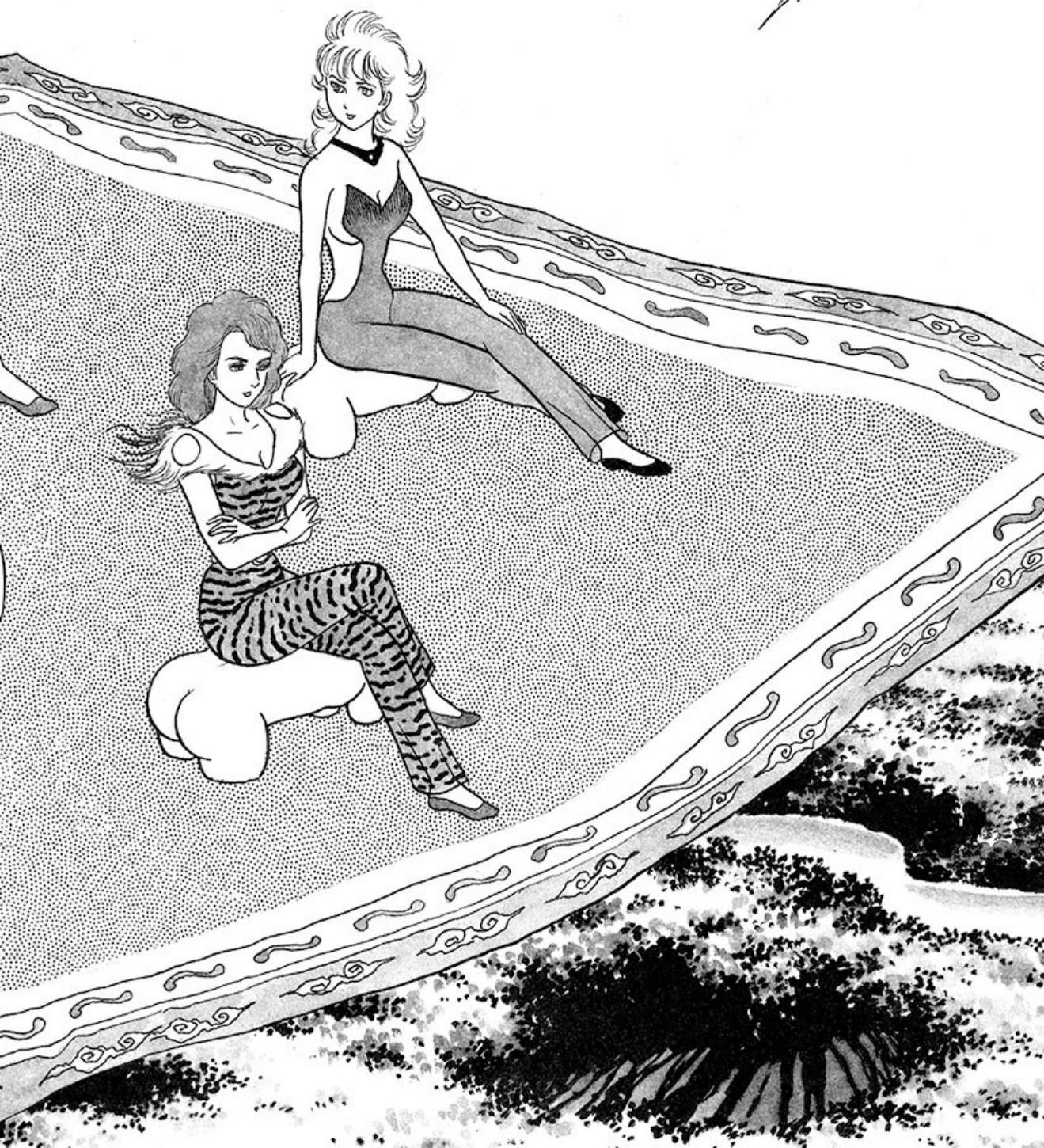
1. 飛行絨毯



例のヤブーも
青い鳥に先導
させて連れて
行かせといたわ

瑠台も
久し振り
だわ

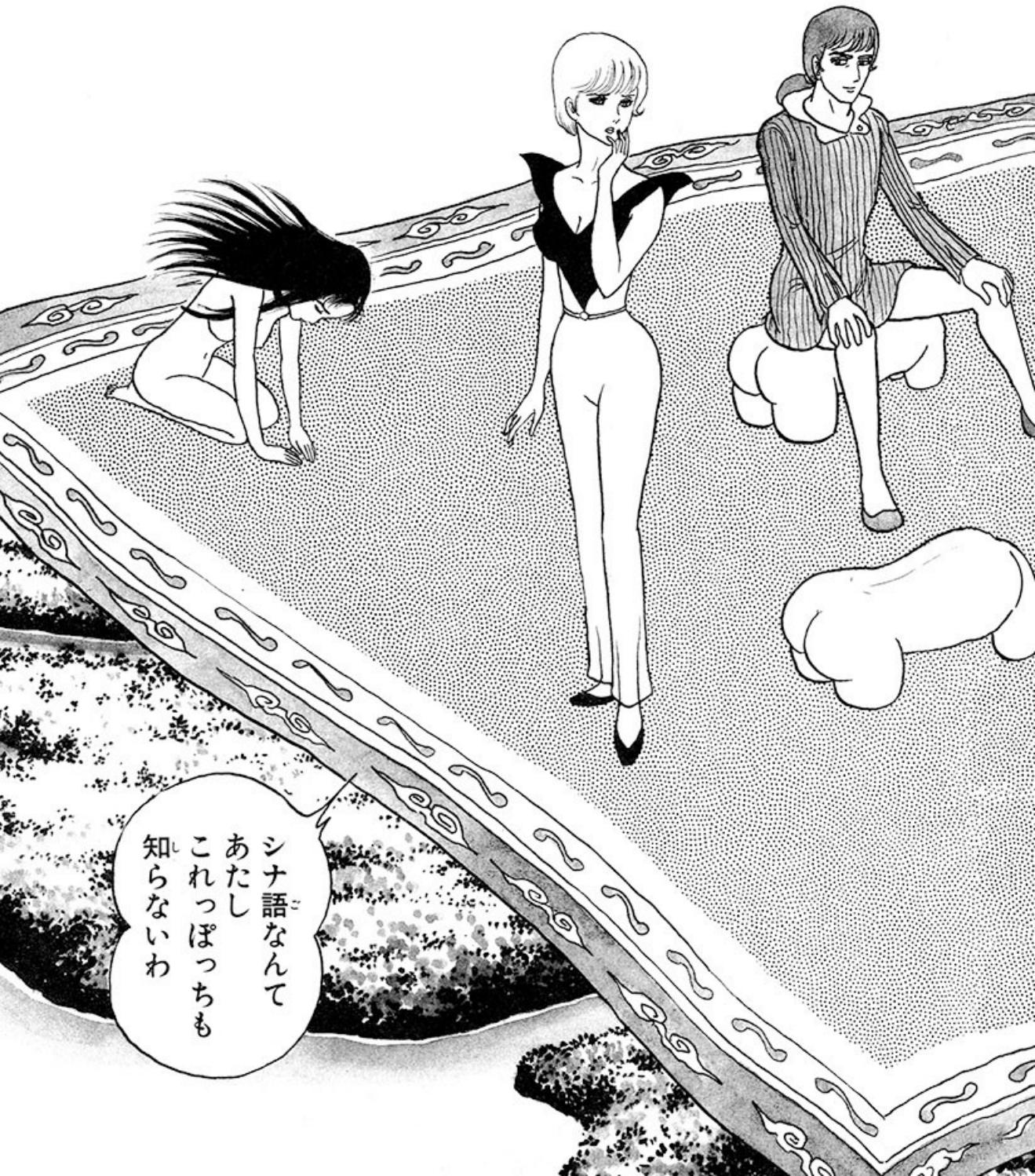
今度
行くところは
シナ語で
話すのよ



飛行絨毯

フライング・カーペット

下面と四周は純白の
擬似雲層に包まれて
いるから、乗っている
ものには、アラビアンナ
イトの「空飛ぶ絨毯」とし
か思えないが、下界から
眺めれば、一片の白雲の
ように見える。



だいじょう
ぶよ

古代語ピル
を嘆めば
発音も文字
になるわ
かもわかるよ

でも
どうして
シナ語
なの？

アンナ・テラスは、
昔の邪魔で

天照大神に
なつただけじゃ

ないのよ。

地球都督で

いろいろ
古代史に
干渉したの。

例えれば
セミラミス
とかね

えつ、あの
アツシリヤ
女王の？

セミラミス

夫ニヌス王を弑して女王となり、
四十三の王国を滅ぼした奇跡の女。
バビロンの征服者であり、世界の
七不思議といわれたネブカドネザ
ル王の架空庭園のそもそもの
発明者。

古代シナじや
西王母とい
う女神になつたの



あなたの
ヤブーも
待つて
るわ。
あそこで

今からその宮殿に
行くんだけど、
シナ文字が読め
なくちやわからない
ことだらけだから、
ビルを嘸むのよ

円柱丘と瑠台について

—クララの詰問器より—

太虚殿は、円柱の頂きをなす徑二キロの
平地懸圃に建てられた西王母としての

オヒルマン侯爵の王母宮で、別名を

宝玉樓閣

といふ。

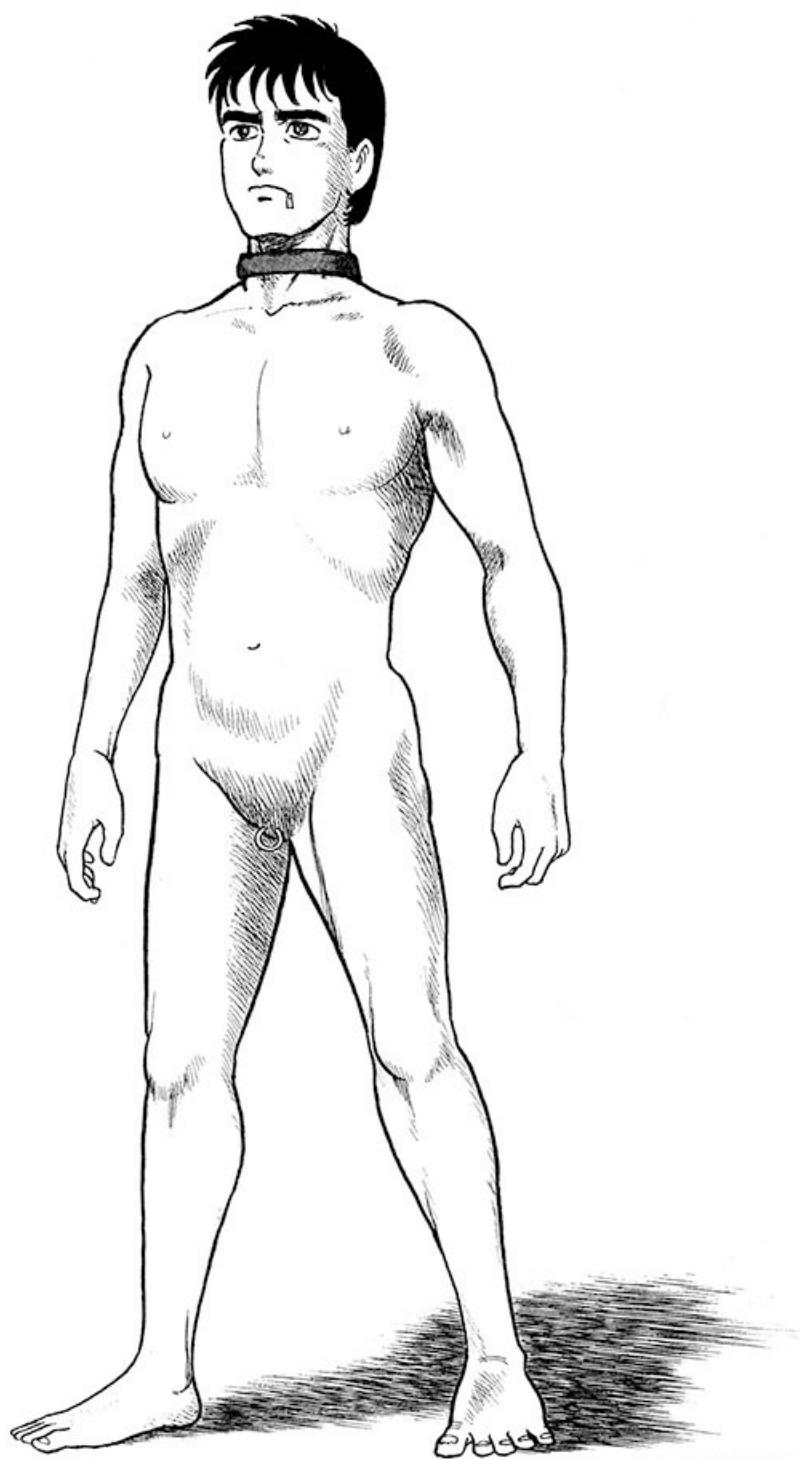
古代シナでは瑠台と呼ばれたが、

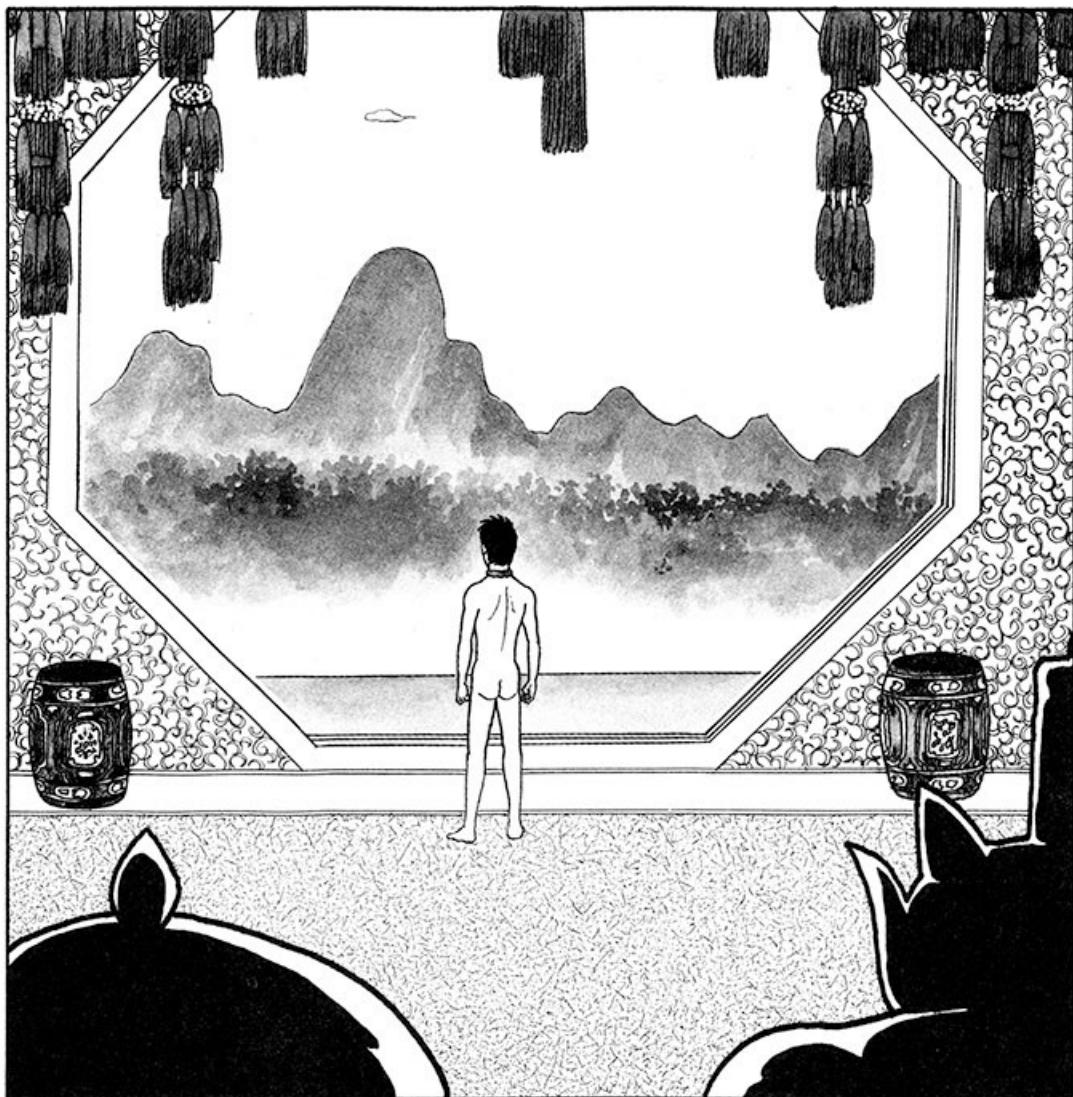
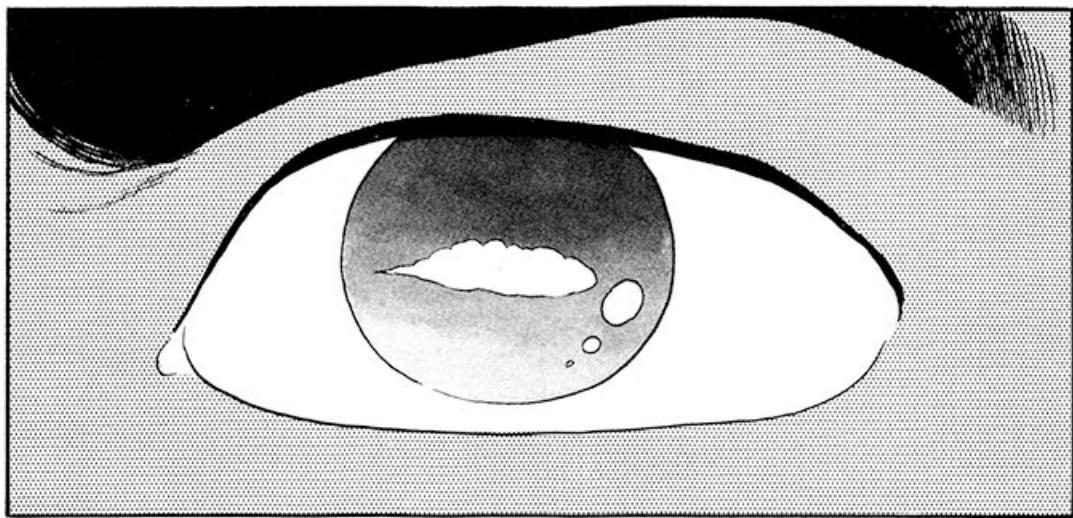
これはJadeの転訛である。

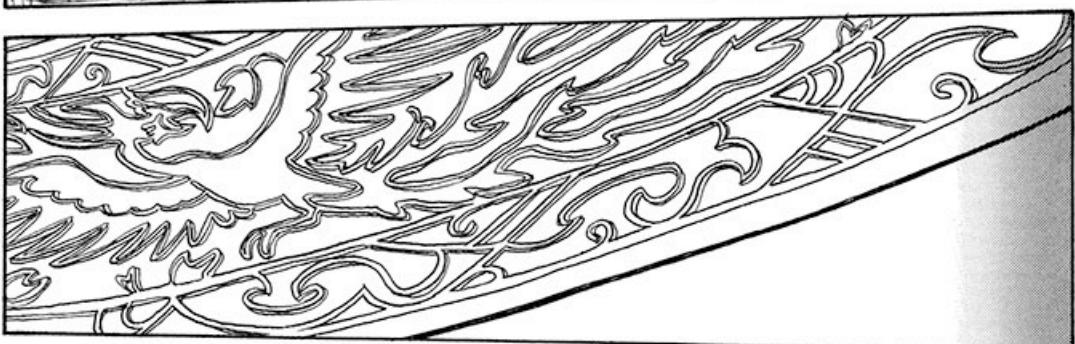
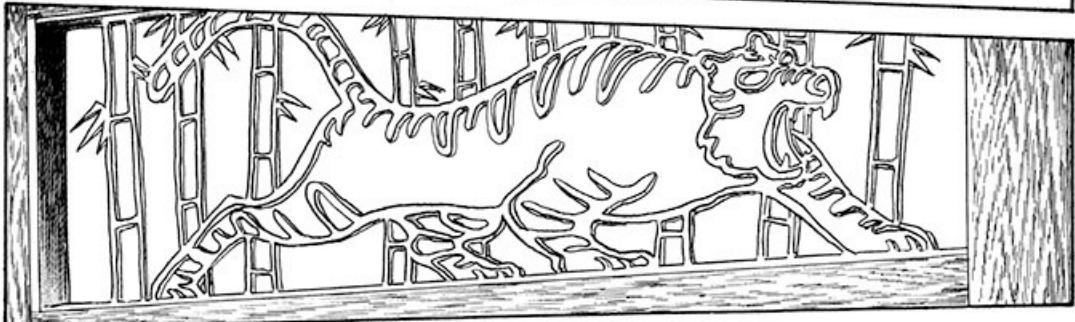
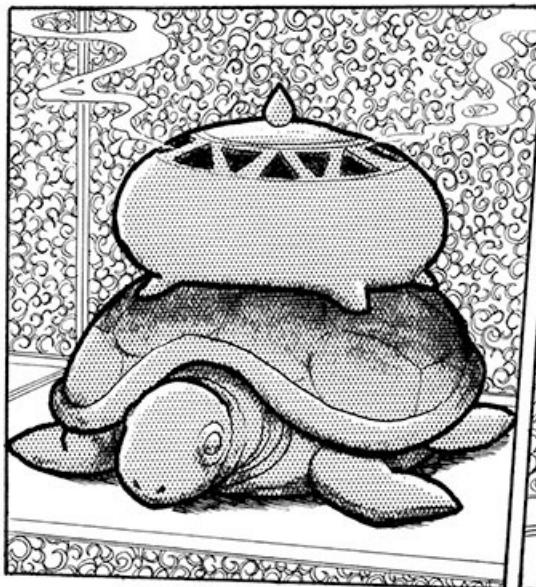
架空庭園は空に浮かぶ飛行島に
あつたから「空中に懸かつた」といわれ、
また、「楚辞」にある崑崙の懸圃なる
ものも、空に懸かつた圃の意味である。
そもそも崑崙からして円柱よりの転訛
である。

……リン
会えるわよ

2. シノワゼリー







長生不老神仙府

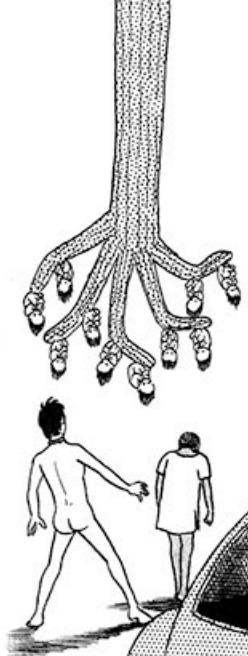
ここは
古代のシナに
違ひない。
漢か、唐か？

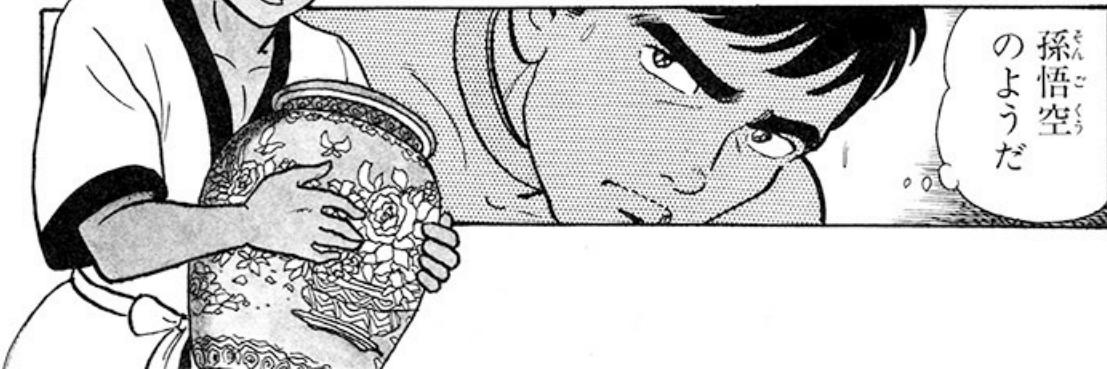
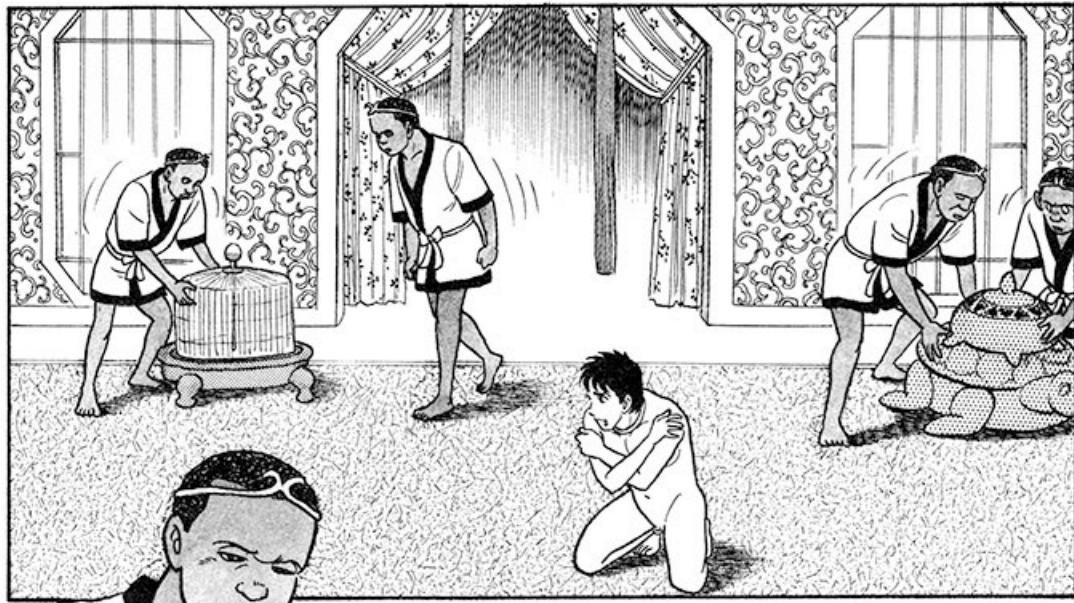
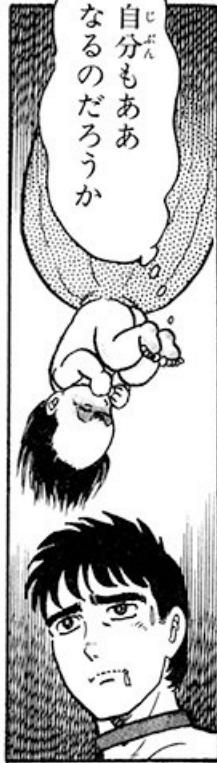
すでに
時間旅行の可能性
を身をもつて味わつ
た麟一郎に瑠台が
古代シナに思われた
のも無理はない。

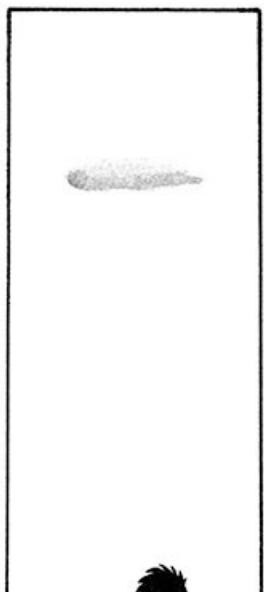
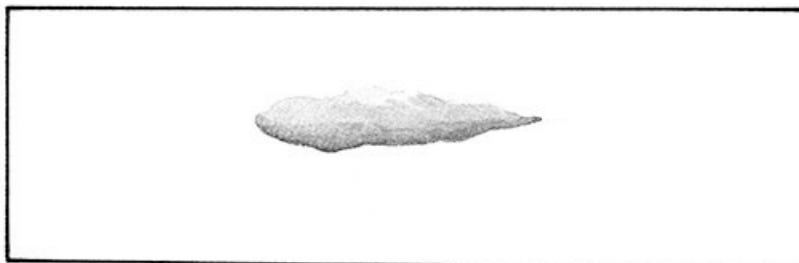


ここに連れてこられた
のだ。
黄金虫に乗せられて
から出で
馴致椅子

麟幻神々の富士山降臨は
麟一郎だつたが
ここが巨大な飛行島であること
までは思いも及ばなかつた。





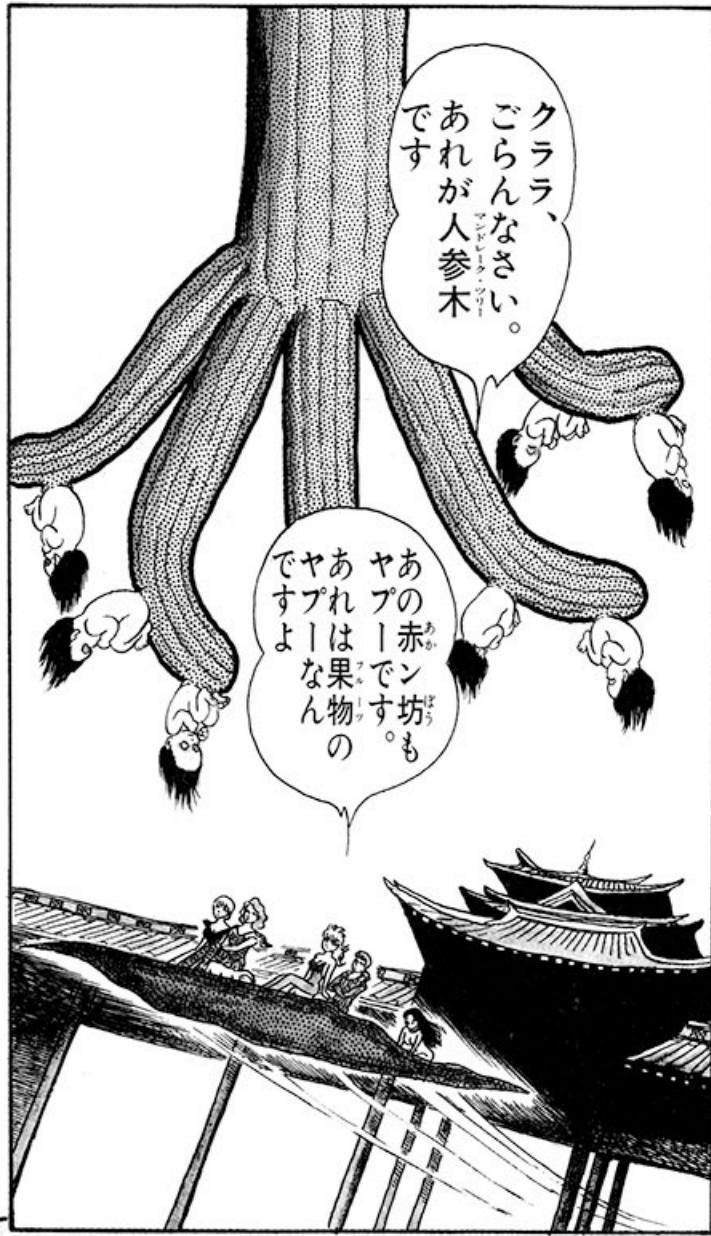


ホイレン レツケン
3. 吠えと舐め

円柱丘と瑤台の構造について
する円柱内住居。
九層構造の回転塔。
唐詩人の下ハ維レ萬仙ノ家
嚴タリ王母宮
下ハ维レ萬仙ノ家
唐詩人の下ハ维レ萬仙ノ家



「青い鳥」
ブルーバード
赤い帽子の青い羽根の三青畜鳥、
西王母の羽根の青い畜鳥、
赤い帽子の青い畜鳥、
西王母の青い畜鳥、
ある。



おもてざき
廳堂の前の回廊

